

FinePlay!!

豊中市立第五中学校
第2学年 65期 No.14
2017年12月1日(金)

2学期期末考査講評

国語	テスト返却時にも伝えましたが、みなさんの注意力を高めましょう。日ごろの授業でも内容を聞き逃していることが多く、それをテスト問題として出してもなかなか天につながっていないのが現状です。問題文をよく読まなかったことで、落とした問題も非常に多く、残念でなりません。「問題が難しい」という声をよく耳にします。ただ記憶するだけでは、国語の力はまず上がりません。もう一度、自分の学習方法を見直す時期です。国語の力は記憶することではなく、理解することで初めて身につきます。記憶も必要ですが、それを形にすることから逃げないでください。
社会	今回も、中間考査に引き続き地理的分野での出題でした。問題の出題傾向と配分についても大きな変更はなく、地名を問う問題と、各单元ごとの出題の形でした。きめ細かく努力を積み重ね、そして成果を上げつつある人が徐々に増えている一方で、相変わらず授業に対して素直に臨めず、私語など落ち着きの無い状態を繰り返している人たちが残念ながら各クラスともに何人かづついるのが残念です。もう中学校生活も後半。授業をとにかく大切にできる人が結果につながっています。テスト後からは歴史です。頭を切り替え、单元ごとに[5W1H]を意識しながら学習に取り組んでいきましょう。年明けのチャレンジテストはこれから学んでいく单元が出題範囲になります。復習もさらに確実に習慣づけておきましょう。

<p>数学</p>	<p>期末考査、ご苦勞様でした。今回も出題レベルはいつもと同じように問題集でいうA問題、B問題が半々ぐらいになるように出題しました。大きなテーマとして「一次関数の利用」と「角の大きさを求める」がありました。</p> <p>「一次関数の利用」は授業で扱った問題とほぼ同じだった[11]はまずまずの正答率でしたが、それ以外は正答率が 30%程度で厳しい結果になりました。すべてどこかの入試問題を基に作りしましたので難しかったかもしれませんが、1年後の皆さんはこのような問題にもたくさん出会っていくことになることを忘れないでください。一方で、「角の大きさを求める」問題では、知識理解度を測った[4]はよくできていました。また、数学的スキルを測った[5]、[6]もよくできていました。ただし、難易度を上げた[7]では(1)、(2)は白プリ、(3)(4)は授業プリントに類似問題があったのもっとできてほしかったです。</p> <p>いつも言うことですが、「できないからあきらめ」では何の扉も開きません。テーマ変わり、分野変わりをひとつの機会にもう一度、一緒に頑張っていきましょう。</p>
<p>理科</p>	<p>1. 単体・化合物 2. 発熱・吸熱反応 3. 4. 化学変化による質量変化 5. 還元から 60 点分 6. 7. 8. 電気についてから 40 点分出題しました。後半の電気の分野については最近授業した内容ということもあり、とても良くできていました。しかし、前半の化学分野に関しては、計算ができない、化学反応式を覚えていないなど復習できていない人が多くいたように思います。学年末テストは計算問題を多く出題する予定です。日々の復習をしっかりとっておきましょう。</p>
<p>保健体育</p>	<p>《男子》保健では、選択問題は高得点でしたが、記述式の問題が、正答率が低く全体の点数の伸び悩む結果に繋がりました。次回のテスト(3学期の体育分野)も、選択問題よりも、記述式の問題を増やすので、がんばりましょう。</p> <p>体育分野では、高得点の人が多く、平均点も高かったです。覚えていて欲しい知識は頭に入っているのだと、感心しました。3学期も期待しています。</p> <p>《女子》体育分野については4種目出題しましたが、水泳・柔道がよくできていました。逆にハードル走の問題に課題が残りました。保健分野では自分に身近な単元ということもあり、周りの環境に適應する問題がよく理解できていました。問題数が少なかったので配点が大きくなり、少しのミスで点数が下がった人も多かったので、問題の見直しを確実にできるよう、次回も頑張りましょう。</p>
<p>技術</p>	<p>周辺機器や情報についての知識に関する問題は、正答率 55%でした。「7」のプログラムについての問題は、プログラムを読み取る力とプログラムを作成する力を見ました。正答率が 40%を切っていますが、学年末でも出題しますので、「読める」「かける」力をつけてほしいです。</p>
<p>家庭</p>	<p>よく理解して復習していたようです。衣生活については、もう一度復習しておきましょう。</p>

英語

全体的に大変よく出来ていました。学年平均61.7点と、前回の中間考査から大幅アップしました。がんばりましたね。テスト範囲が前回の半分程度ということもあり、テスト準備がしやすかったのではないのでしょうか。単語を覚える、小テストを何度も復習する、教科書本文を音読する、などやるべきことを一つ一ついねいに時間をかけて準備できた人は、納得のいく結果を得られたと思います。テスト返却のときにも言いましたが、英語を学習していく上で「単語を覚える」「教科書本文を音読する」は必要不可欠なことです。3年生になるまでに、1・2年生の教科書の単語はつづり・意味ともにわかるようにしておきましょう。小テストを実施しながら授業内でも確認をしていきます。引き続き、がんばりましょう。